

看護部だより

第93号
平成30年1月10日
国際医療福祉大学病院看護部



後列左より 榎田副看護部長 柴副院長 大竹副院長 福田副看護部長
前列左より 大和田病院長 田口副院長・看護部長



鈴木副院長

新年明けましておめでとうございます。

昨年は田口春美副院長兼看護部長をはじめとする看護部の皆様に支えられて、めでたく新年を迎えることができ、感謝申し上げます。今年は当院が大きく発展する年です。最も大きな事は秋頃に病床数が353床から55床増え、408床の大規模病院になることです。当然のことではありますが、看護師は病院の評価を直接左右する重要な職種であり、これから病院が期待通り発展するか否かは皆様の手にかかっています。誇りと責任を持って仕事に励んでいただければ幸いです。皆様も新年を迎え各自いろいろな目標を立てられたとは思いますが、私は皆様が健康で安心して働ける職場環境をつくることに一層努力したいと存じます。

病院長 大和田 倫孝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2018年は、病院・看護部にとって更なる発展の年になります。研究棟、G棟が着々と確かな姿を創っていくように、408床に向けた新たな体制作りに取り組んでいきましょう。変えてはならないものを大切にしつつ、勇気をもって変革へと歩みを進めていきましょう。

新たな年が、職員の皆様にとってより幸多い年でありますようお願いしております。

副院長・看護部長 田口 春美



今年のご目標

～各部署より今年のご目標をひと言いただきました～

6R・3原則を徹底し一人一人責任をもって看護を実施することができる。

A棟4階東病棟

看護師間で密に情報共有をおこない、より良い退院支援ができるようにする。

A棟4階西病棟



“ 補い愛 ”

外来

全てにおいて「あるべき姿」を考え、行動できる。

A棟3階東病棟

パートナーやチームのなかで協力して患者一人一人に適した看護を実践する。

A棟3階西病棟

継続した看護ケアが行えるよう患者カンファレンスの内容を充実させる。

透析室



謙虚な姿勢、相手を思いやることを常に考え、プロフェッショナルであり続ける。

B棟5階病棟

専門職として、自己のスキルアップを図り、安全・安楽な看護提供に繋げていく。

B棟4階病棟


患者様に寄り添い、幅広い女性の一生をそばで支え、安心・安全な看護を提供する。

B棟3階病棟


元気な赤ちゃんが生まれ、家族みんなで妊娠・出産・育児を楽しめますように。

ばーすはうす






明るく笑顔でほがらかに
赤ちゃん和家人に寄り添い、
快適に過ごせる環境を提供
する。 あかちゃんセンター




疾患にはばかり目を向けるの
ではなく、患者・家族の心に
寄り添った看護を提供する。
ICU




「心配りと温かさ」
人とのつながりを大切に
する。


予防医学センター




感染対策に王道なし。
患者にとって医療者の
後悔・反省は
“犬もくわない”ので。
感染対策管理室



新年より心不全の治験が
始まる予定です。治験施設
機関と共に成功するよう
頑張ります。 治験管理室




昨年は「学びの年」としました
が、今年は学びを継続し新たな
目標への「熟成の年」にしたい
です。 医療安全管理室



心も身体も健康に！
穏やかな対応で心温まる看護
をめざす。

退院調整支援



皆でつなごう
思いやりの輪
手術室



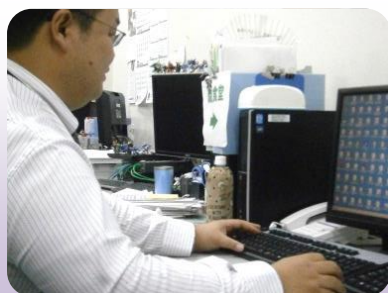
他部署紹介



防災センター

9名の職員が在籍し、E棟内にある防災センターに24時間36日
常駐しています。施設全体の設備管理や防災管理、院内巡視を行って
います。この他、Eコール・Vコールの受付窓口も務めています。

防災センター一同



システム室

電子カルテ及び院内ネットワーク運用・保守が主な業務です。また電子
カルテの操作説明・相談、パソコン設置や修理、プリンター対応も行って
います。場所は、医事課隣の個室です。気軽にお声かけください。
今後ともよろしくお願ひします。

システム室一同



研修報告



特別講演「医療者にとって癒しとは」

11/10(金)、国立国際医療研究センター名誉院長、堀之内病院地域医療センター小堀鷗一郎先生をお招きし特別講演が開催されました。講演には100名を超える職員が参加しました。

小堀先生の長年在宅医療に携わってこられた経験談を伺い、患者様がどのように最期を迎えるか、その時、医療者は「癒し」のために何ができるのか考える機会になりました。今後も患者・家族の意志を確認し、寄り添う看護を行っていきたいと思います。



B棟3階病棟 酒井由佳

卒後2年目研修 「看護過程」

12/15(金)、卒後2年目を対象とした看護過程の発表が行われました。看護過程について6グループに分かれ、各グループに教育委員の担当者が付き助言をいただきながら、思い通りの看護を発表することができました。

看護過程の展開を通し、日々行っている看護や、患者様への対応などを改めて振り返ることが出来、日々の看護を見直す機会となりました。今後も、より良い看護提供を行っていきたいと思います。

B棟5階病棟 鈴木彩花



パートナーシップ・マインド研修

当院では、パートナーシップ・ナーシングシステム(PNS)の導入が始まっています。PNSとは、看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的とし、2人の看護師がよきパートナーとして、対等な立場で、お互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合う看護提供方式です。

11/20(月)、11/24(金)、11/29(水)にパートナーシップマインドについて理解するための研修が行われ、良い例と悪い例のロールプレイを見た後「尊重」「信頼」「慮る」の3つについてグループで話し合いました。今後も効果的に運用できるよう理解を深めていただきたいと思います。

副看護部長 櫛田 恵津子



編集後記

あけましておめでとうございます。
多くの方に御協力をいただき今月号も無事に完成しました。
新年以降もより良い「看護部だより」を皆さまにお届けできるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

<第93号編集担当>

酒井 由佳・鈴木 彩花・櫻井 愛美



看護部だより編集委員一同